

祈りの友へ

教会の主、イエス・キリストの御名を讃えます。

本校の働きのために献身的な祈りと愛の捧げものに心から感謝を申し上げます。天地の主である父なる神の祝福をお祈り致します。

さて、10月に開かれた本校の理事会において、新年度(2019年度)からの体制変更と新たな方向性を決議いたしました。主権者であるの神の摂理の御手があることを期待し、新たな一步を踏み出したいと思っております。

これを機に、現在進めている「C-BTE (Church Based Theological Education)」に導かれた経緯を再確認していただけるよう、数回に分けてご説明いたします。主の意図を共有の上、皆様のお祈りとご支援をお願いできれば幸いです。

御教会の宣教の祝福を祈りつつ、

< なぜ C-BTE なのか > その1 「C-BTE との出会い」

本校は1963年、聖書の言語十全靈感を中核とした信仰告白を基にバプテストの伝統と特質を備えた教職者養成のために設立されました。上杉、八木山時代を経て、1990年に愛子にキャンパスを移転しました。

そして創立30周年を機に、これからの神学教育、神学校の在り方を考える「将来構想委員会」が発足し、多角的な視点から検討が始まりました。折しも1999年にカー宣教師を介してカナダのケベック州モントリオールにある神学校「SEMBEQ」を紹介されました。教会指導者育成におけるユニークな取り組み、かつ教会建て上げ(開拓)において成果を上げているとのことでした。

翌2000年、有志と共々を訪問し、研修を受けさせていただきました。神学校教育その教室は各教会、いのちの交わりである神の家族です。おおよそ10年ほどの積み重ねを経て牧師の按手が成されていました。実は、この時に初めて「C-BTE パラダイム」を知ることになったのです。報告を受けた理事、教師たちが心動かされ、2002年10月7日に「SEMBEQ」の創立者であり校長であったアレクザニアン師をお招きし、本校において「センベックセミナー」が開催されました。

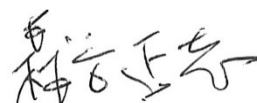
翌2003年12月には私達も触発され、神学教育再編のために「SEMBEQ 理念草案」をまとめました。結果的にはアレクザニアン師から紹介されたC-BTEの国際的ネットワーク「ビルドインターナショナル」との提携において指導、助言を受けることになり、現在に至っています。

「SEMBEQ」の創立が1970年ですが、ちょうどその頃にアレクザニアン師を含め北米の教職者たちが欧米の学校スタイルの神学校、その教育のあり方の問題点を共有し、教会主体の神学教育・指導者育成のあり方を模索し、取り組み始めていたのです。その一つの始まりが「SEMBEQ」であり、またBILDの母体である「オークウッドロード教会」(主任牧師:ジェフ・リード)であったのです。「SEMBEQ」でのセミナーの一つが「使徒の働き」で、そのリソースはBILDのものでした。まさに神の摂理であったと思います。

(次回に続く)

2018年11月2日

C-BTE Japan リソースセンター
仙台バプテスト神学校



校長 森谷正志